

# 平成28年度第2回鎌ヶ谷市史編さん審議会会議録(要約筆記)

- 1 開催日時 平成29年2月15日(水) 14:00~15:30
- 2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階 保育室
- 3 出席者 委員 下津谷達男会長、村田一二副会長、横山謙次委員、  
小出達雄委員  
※関根委員欠席  
事務局 皆川教育長、立野郷土資料館長(兼)学芸員、  
手塚主事(兼)学芸員

議題 以下のとおり

※傍聴者なし

## 1 開会

---

## 2 会長あいさつ

---

## 3 教育長あいさつ

---

### 会議録署名人の選出

---

→村田一二副会長、小出達雄委員を会議録署名人に選出した。

## 4 議事

---

### (1) 平成28年度市史編さん事業進捗状況報告について

手塚主事より資料1・2に基づき説明があった。

### 質疑

【村田委員】 『鎌ヶ谷のあゆみ』の印刷費について。

【手塚主事】 フルカラーであるため200万円を超えた。

→質疑の後、議事(1)は承認された。

## (2) 市史編さん事業の終息について

立野館長及び手塚主事より、市史編さん事業の機能を継承する事業について、財政当局へ要求した内容と、実際に内示された予算について、下記のような概略説明があった。

・史料整理を担当する非常勤学芸員の賃金、『鎌ヶ谷市郷土資料館紀要』に関わる印刷製本費・謝礼（筆耕料）、消耗品費（保存箱ほか）、史料整理用封筒の印刷代、マイクロリーダープリンター賃貸借料、教育普及（市史編さん終了記念講演会、自然観察会）に関わる講師謝礼、専門家による資料調査鑑定謝礼、等を要求。

→賃金については週5日・1人分の内示があり、その他史料整理に要する消耗品費、封筒の印刷代などが内示された。一方、教育普及や調査に関わる予算は郷土資料館の経常経費内で対応するよう査定があり、計上されず。

→このほか市史編さん終了後の残務処理（労働保険）について補足説明があった。

## 質疑

【村田委員】 次年度の郷土資料館職員の人数について。

【立野館長】 正規職員は3名、再任用2名は変わらない。非常勤職員は学芸員がこれまでの1名から、計上が認められた週5×1人分を2人で分割する形になるので2名増となる。

【下津谷委員】 事業団は次回の会議で終わるということか。

【立野館長】 活動は終わるが、休止という形を取る。将来的に大規模な調査や刊行物の発行などを要することも考えられるので、その際に再び活動を再開する可能性はある。

【下津谷委員】 この審議会はどうするのか。

【立野館長】 次年度は継続する。

【村田委員】 退職する学芸員の後任人事について。

【立野館長】 平成29年4月1日採用の公募を行い、現在選考中である。

【下津谷委員】 新しい学芸員の専門分野について。

【立野館長】 近世史、近現代史を専門分野とする者を対象に募集をかけた。

【下津谷委員】 市史研究は終了するのか。

【立野館長】 市史研究という形は第30号で終了する。その後継誌として『鎌ヶ谷市郷土資料館紀要』印刷製本費の予算を要求したが計上されず。しかし、郷土資料館では企画展図録の印刷製本費が毎年度計上されているため、図録を安価に制作できた時の執行残を活用して発行する、あるいは図録と紀要を隔年で発行する、といったことが現状で

は考えられる。紀要の件は、次年度以降も財政当局に要求していく。

- 【横山委員】 狭あいとなっている郷土資料館の収蔵スペースについて。
- 【立野館長】 収蔵スペースについては現状で具体的に決まっていない。埋蔵文化財は現在収蔵している旧トレーニングセンターから、市内中学校余裕教室に移動する予定。弓道場・アーチェリー場の前にある文化係と郷土資料館の文化財収蔵庫も築年数が経ってきているため、文化・スポーツ課として新たな収蔵施設について要求し続けている。全庁的な理解を得られるように力を尽くしていきたい。
- 【横山委員】 最近の市内学校の児童・生徒数について。
- 【手塚主事】 学校によって異なる。新鎌ヶ谷地区の周辺は児童・生徒が増え、学区の見直しが議論されている。それ以外の地域も微減であり、余裕教室はそれほどない。鎌ヶ谷小学校は4クラスから5クラス、それに対して北部小学校や南部小学校は1クラスのこともある。
- 【小出委員】 収蔵スペースについて、鉄道や道路の高架下、橋の下の活用は考えられないか。
- 【村田委員】 橋の下は湿気の問題などもあるので、恒久的な施設を設置する際は難しいこともあるが、収蔵施設については尽力を続けてほしい。

→質疑の後、議事（2）は承認された。

## 5 その他

---

### (1) 平成28年度企画展・第17回ミニ展示・その他展示について

手塚主事より資料3・4・5に基づき説明があった。

### (2) 平成29年度の郷土資料館の展示について

次年度以降の予定について、市域に残っている御札の調査研究の成果や、平成29年5月に鎌ヶ谷市内で結願が行われる東葛・印旛大師講に関わる展示を開催する予定であることについて、立野館長より説明があった。

## 6 閉会

---

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成 29 年 3 月 16 日

署名人 村田 一二

署名人 小出 達雄